

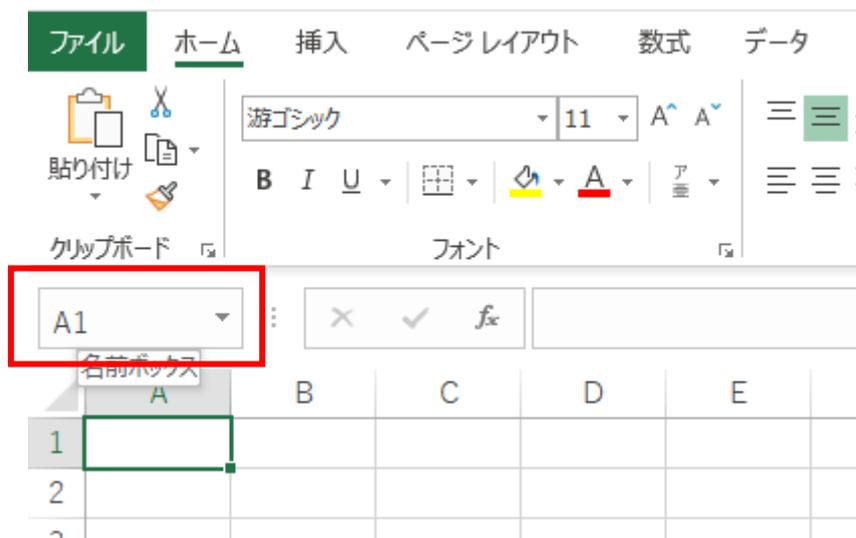
エクセル マウスを使わずにセルや範囲を選択

ノートパソコンを使用するようになって、マウスをドラッグして広いセル範囲を選択するときに行き過ぎを注意するため随分気を使っていますか。

また、行き過ぎないように、選択する範囲の左上にポインターを移動させそのセルでマウスボタンをクリックして選択し、垂直スクロールバーや水平スクロールバーをドラッグして範囲の右下のセルを表示して、[Shift] キーを押しながら範囲の右下のセルをクリックしてもセル範囲の選択ができますが、セルの選択範囲が広いと、範囲をドラッグする、スクロールするいずれの作業も少々時間がかかります。

セル範囲の左上と右上のセル番号がわかっているときには、この作業を短時間に済ませる方法があります。

そのために利用できるのが『名前ボックス』です。『名前ボックス』は、リボンの下の左端、[数式バー] の左にあります。(赤枠内)



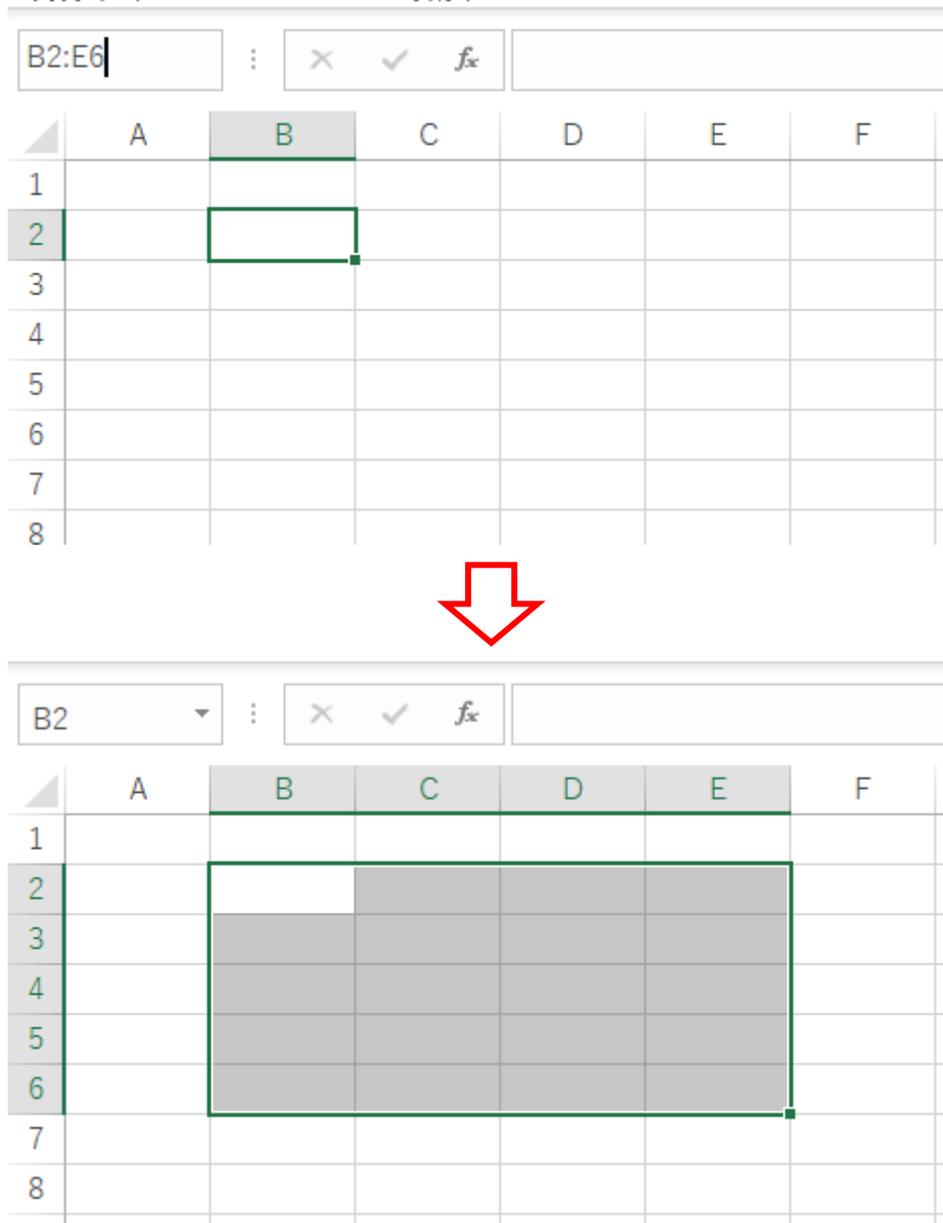
ポインターをこのボックスに重ねると『名前ボックス』と表示されます。

この『名前ボックス』には何が表示されているのでしょうか。表にあるいずれかのセルを選択した後、名前ボックスを見るとそのセルのセル番号が表示されます。マウスでセル範囲 [A1:C6] をドラッグして選択すると、「名前ボックス」は、範囲選択した始点のセル番号 [A1] が表示されます。逆にセル範囲 [C6:A1] を右下からドラッグすると、やはり範囲選択した始点のセル番号 [C6] が表示されます。

この『名前ボックス』を利用すると、セルの選択ができます。

『名前ボックス』をクリックすると、『名前ボックス』に表示されているセル番号が選択状態になります。そこで別のセル番号を入力するとそのセル番号のセルが選択されます。

セルが選択できますから『名前ボックス』にセル範囲（例は [B2:E6]）を入力し [Enter] キーを押すと、入力したセル範囲も選択できます。



別の方法として、まず、『名前ボックス』に「A1」と入力して [Enter] キーを押します。A1 が選択できますので、再び『名前ボックス』を選択して、「A1」を「C6」と書き換え、続けて [Shift] キーを押しながら [Enter] キーを押すとセル範囲である [A1:C6] を選択できました。

広いセル範囲を選択するときには役に立ちます。